

別表2

2020.1.1 改定

1 評価料金表

2-1表

単位(円) (税込み)

評価種別		一戸建て住宅(戸当たり単価)			共同住宅等							
		200㎡以内	200㎡超 500㎡以内	500㎡超	500㎡以内	500㎡超 1,000㎡以内	1,000㎡超 2,000㎡以内	2,000㎡超 5,000㎡以内	5,000㎡超 10,000㎡以内	10,000㎡超 20,000㎡以内	20,000㎡超 50,000㎡以内	50,000㎡超
設計住宅性能評価	設計住宅性能評価手数料 (標準必須評価4事項のみ)	28,000	44,000	見積りとする	40,000+M× 11,000	50,000+M× 11,000	98,000+M× 11,000	156,000+M× 11,000	197,000+M× 11,000	314,000+M× 11,000	644,000+M× 11,000	見積りとする
	設計住宅性能評価手数料 (標準必須評価4事項+選択項目)	28,000+S ×1,000	44,000+S ×2,000	〃	40,000+M× (11,000+S×2,000)	50,000+M× (11,000+S×2,000)	98,000+M× (11,000+S×2,000)	156,000+M× (11,000+S×2,000)	197,000+M× (11,000+S×2,000)	314,000+M× (11,000+S×2,000)	644,000+M× (11,000+S×2,000)	〃
	設計住宅性能評価手数料 (長期優良相当必須評価事項のみ)	44,000	57,000	〃	52,000+M× 14,000	66,000+M× 14,000	126,000+M× 14,000	201,000+M× 14,000	254,000+M× 14,000	406,000+M× 14,000	829,000+M× 14,000	〃
	設計住宅性能評価手数料 (長期優良相当評価事項+選択項目)	44,000+S ×1,000	57,000+S ×2,000	〃	52,000+M× (14,000+S×2,000)	66,000+M× (14,000+S×2,000)	126,000+M× (14,000+S×2,000)	201,000+M× (14,000+S×2,000)	254,000+M× (14,000+S×2,000)	406,000+M× (14,000+S×2,000)	829,000+M× (14,000+S×2,000)	〃
	型式認定を受けた場合の 手数料からの減算額 注1	3,000	5,000	〃	5,000+M ×2,000	6,000+M ×2,000	12,000+M ×2,000	25,000+M ×2,000	38,000+M ×2,000	38,000+M ×2,000	38,000+M ×2,000	〃
	製造者認定を受けた場合の 手数料からの減算額 注1	6,000	9,000	〃	9,000+M ×3,000	11,000+M ×3,000	24,000+M ×3,000	49,000+M ×3,000	77,000+M ×3,000	77,000+M ×3,000	77,000+M ×3,000	〃
	当センターに確認と併せて申請を 行った場合の手数料からの減算額	2,000	3,000	〃	4,000	5,000	10,000	23,000	36,000	36,000	36,000	〃
建設住宅性能評価	建設住宅性能評価 (標準必須評価4事項のみ)	90,000	116,000	見積りとする	N×38,000+M× 9,000	N×77,000+M× 9,000	N×91,000+M× 9,000	N×100,000+M× 9,000	N×110,000+M× 9,000	N×196,000+M× 9,000	N×387,000+M× 9,000	見積りとする
	建設住宅性能評価 (標準必須評価4事項+選択項目)	90,000+S ×6,000	116,000+S ×7,000	〃	N×38,000+M× (9,000+S×2,000)	N×77,000+M× (9,000+S×2,000)	N×91,000+M× (9,000+S×2,000)	N×100,000+M× (9,000+S×2,000)	N×110,000+M× (9,000+S×2,000)	N×196,000+M× (9,000+S×2,000)	N×387,000+M× (9,000+S×2,000)	〃
	建設住宅性能評価 (長期優良相当必須評価事項のみ)	101,000	132,000	〃	N×50,000+M× 12,000	N×101,000+M× 12,000	N×120,000+M× 12,000	N×133,000+M× 12,000	N×147,000+M× 12,000	N×261,000+M× 12,000	N×516,000+M× 12,000	〃
	建設住宅性能評価 (長期優良相当評価事項+選択項目)	101,000+S ×6,000	132,000+S ×7,000	〃	N×50,000+M× (12,000+S×2,000)	N×101,000+M× (12,000+S×2,000)	N×120,000+M× (12,000+S×2,000)	N×133,000+M× (12,000+S×2,000)	N×147,000+M× (12,000+S×2,000)	N×261,000+M× (12,000+S×2,000)	N×516,000+M× (12,000+S×2,000)	〃
	製造者認定を受けた場合の 手数料からの減算額 注1	16,000	22,000	〃	N×7,000 +M×2,000	N×21,000 +M×2,000	N×26,000 +M×2,000	N×30,000 +M×2,000	N×58,000 +M×2,000	N×58,000 +M×2,000	N×58,000 +M×2,000	〃
	当センターに確認と併せて申請を 行った場合の手数料からの減算額	9,000	10,000	〃	12,000	14,000	16,000	22,000	34,000	34,000	34,000	〃
	当センター以外で住宅性能評価を 行った場合の手数料への加算額	16,000	26,000	〃	26,000 +M×9,000	32,000 +M×9,000	62,000 +M×9,000	123,000 +M×9,000	195,000 +M×9,000	195,000 +M×9,000	195,000 +M×9,000	〃

凡 例

M : 評価対象住戸

N : 評価方法基準の定めによる検査回数

S : 選択項目数

- 注1 上記減ずる額は、性能表示項目のうち構造の安定に関すること、劣化の軽減に関すること、及び温熱環境に関することの3項目の認定を受けている場合に適用する。ただし、3項目のうち1項目毎に上記減算額の1/3(百の位を四捨五入する。)を減算できることとする。
- 注2 長期優良相当とは、構造の安定に関する分野(1-1,1-2,1-4項目のいずれか)の等級が2以上のものとする。
- 注3 標記の共同住宅等における選択項目算式は、「住戸数=選択数」の場合の算定式とする。
よって、双方の数が異なる場合は住戸数及び選択数を個々に算出し計上する。
- 注4 温熱環境において、5-2一次エネルギー消費量のを選択する場合は、5-1外皮計算も必要となることから
選択1項目分の料金×申請戸数を加算する。
- 注5 共同住宅等における、長期優良相当の申請の場合、9-1専用部分の高齢者も選択する場合は、選択1項目分の料金×申請戸数分を加算する。
- 注6 引き受け後に選択項目の審査が追加となる場合は、選択数に応じ料金を加算する。また引き受け後に選択項目の審査が減少する場合は返金しないものとする。
- 注7 評価書等を再交付する場合の料金は、1通につき、税込み8,000円とする。
(名義変更等の技術審査を伴わない変更による評価書の交付を含む。)